

シリーズ⑤ 学力向上への道

わが校の学力向上の 取り組みについて

名和小学校

授業を通して学力向上

小学生は一日に、1年生で3時間45分、5・6年生では4時間30分の時間を学習しています。

名和小学校では、一時間単位の授業を大切にして、子どもたちの学力向上をめざしています。

1 国語を通して「学び合い高め合う力」を育てる

授業の中に子どもたちが「話し合ったり、教え合ったりする場面」を教師が意図的に作り、学び合い高め合う力を育てようと試みています。特に、「国語力が全教科の基本」と考え、国語の授業づくりについて研究をしています。

教師の問いに答えるだけの授業ではなく、自分で考え、言葉や文字、図、絵で表現しながら、粘り強く友達に伝える力を育てています。同時に、友達の考えをしつかりと聞き、分からなければ聞き直したり質問したりして、相手の考えを理解する力も育てようとして取り組んでいます。そのため、授業の中に、「隣同士のペアで話し合う」「グループで話し合う」「学級全体で話し合う」場面を取り入れています。

2 子どもたちが進んで取り組む授業

授業の楽しさや喜びとは、「新しいことを知る」「できないことができるようになる」「自分で工夫して取り組む」こ



とを通して、感じることでできるものだと考えています。

名和小学校では、学習意欲を向上させるために、子どもたちが目的と見通しをもって授業に取り組むことができるように工夫しています。

例えば、一年生の国語の教科書にある説明文「いろいろなふね」では、子どもたちが、授業で学んだことを生かしてオリジナルの「のりものずかん」を作ること目標に学習を進めました。また、四年生の説明文「夢のロボットを作る」では、最後に自分が考えた夢のロボットを友達に紹介するという目標をもち学習しました。

子どもたちが、教科書を通して学ぶ「文章構成」「文型」「書き手の意図」などは、授業の最後に作る「のりものずかん」や「夢のロボット」に生かすための学習になります。

す。このように子どもたちが、授業に目的と見通しをもつことで、主体性が生まれます。授業内容や授業方法を工夫することで、子ども達の学力向上をめざしています。

3 国語から他の教科へ

「学び合い高め合い」を取り入れたら、「目的意識」をもって取り組んだりする授業は、国語科に限ったことではなく、全ての教科学習にも取り入れることができます。今進めている取り組みを全ての教科学習に、さらに広げていこうと考えています。

4 小・中連携で学力向上

名和小学校では、名和中学校と連携して学力向上に取り組んでいます。互いの授業を見合って、研究協議を深めています。

今年度も7月2日に、小学校4年生の国語の授業を中学校の先生方に見ていただきました。10月には中学校の授業を参観します。授業の中に「学び合い高め合いの力」を育てる場面を入れるという共通の



目標をもって授業研究に取り組んでいます。

「課題提示」↓「自力解決」↓「ペア・グループ学習」↓「高め合い・深め合い」↓「振り返り・まとめ」という小中共通の授業パターンを作り、実践を重ねています。

漢字練習や計算練習、音読などの反復学習や家庭学習といった、子どもたちの学習を支える基礎的・基本的な取り組みも大切にしています。学習したことを定着させるために、これからも家庭や地域と連携し、学力向上へ取り組みたいと考えています。